

いいだ人形劇フェスタ

熱気に包まれたステージ



本館の人形劇は、ゆい☆パペットシアターの「かもとりごんべえ」の紙しばいと語りでは会場は笑いに包まれました。特に空を飛ぶシーンは扇子を使い、吊られる表現で、皆その世界に引込まれました。

「唄って、おかみさん」は、子ブタとおいかけてこの息づかいもすぐ伝わってき、その度笑い、歓声があり、音響も使った迫力あるものでした。

午後の部ではころぼっくりの「二休さん」。和尚さんと小坊主たちの動きがコミカルで背景の絵も多く変わり、効果音のジャジャンの所は毎回笑いが起き、小坊

八月一日〜四日にいいだ人形劇フェスタ竜丘地区公演が行われました。連日の暑さに負けず、十二の劇団による楽しい公演が行われました。

主たちの動きが、ゆるやかで、次はマリオネットどんぐりの「ブレイメン」の音楽隊。少し大きめのかわいらしい人形達、ロバ、ニワトリ達が登場し、ドロボウ達の登場は会場後ろからにぎやかな音楽で入場した所は特に歓声も上がり、年配の女性達の動きが良かったと聞かれました。

上演終わりに子供たちは人形達と触れ合って笑顔を見せる子、少し緊張した子もいました。親子で写真を撮ったりして、劇人の方々と話して笑顔一杯の中でフェスタは幕を閉じました。

今回も小、中学生がボラ

ンティアスタッフに加わり総勢四十名で運営をしました。始めの会では、来てくれる人達におもてなしの心で楽しんでもらい、尚かつ「自分達も一緒に楽しめるものにしよう」と中島委員長から挨拶があり、役割をしっかりと果たしてくれました。受付では始めに入場してくる園児達に笑顔で出迎え、ハイトタッチしたり微笑ましい姿が見られました。交流会準備も皆でやり、流しそうめんや五平餅など、劇人の方と楽しくおしゃべりしながら東京からのゆい☆パペットのお二人は懐かしいと流しそうめんに感激していました。



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,839人
男子 3,335人
女子 3,504人
世帯数 2,570戸
(元年8月末現在)



分館アルバム

竜丘小学校 六年 北澤優月

ボランティア活動では、ワッペンの販売や、司会をしました。今回は二回めだったから、知っている子も多かったです。「私はアンケートをわたす係になりたいな」とおしゃべりをしました。「このボランティアをすれば、みんなの笑顔がたくさん見れるから、良いな。」と思いました。

行く時は人形遊びが楽しみて、帰りは、人形劇がおもしろくて笑顔になっていました。だから、私はまたボランティアがやりたいなと思いました。お手伝いできたことも、ほこしかったです。

緑ヶ丘中学校 一年 下平有華

私はいいだ人形劇フェスタ竜丘地区公演のボランティアをしました。午前に司会、午後受付をしました。司会を任せられ、すぐ練習にとりかかりました。パツと見、難しいと思いました。が、口に出して言うてみると案外簡単でした。かまなように早すぎないようにと心掛けましたが、本番では、少し早口になり、かんでしまいました。来年もやるとしたらもう少しかまなようにしたいです。

午後の受付は去年もやったのでスムーズにできました。私はアンケート記入用紙の

芝刈りに強い味方が登場！

貸出可能な芝刈機を自治会が披露目く

六月二十八日に行われた公民館周辺整備作業に合わせ、地域自治会が新規購入した充電式芝刈機の披露がありました。今後、地区内の芝刈作業に貸出もOKです。地域の備品として有効に使用しましょう。

貸出条件

- ・公共施設の芝刈りに使用する
- ・使用料金は無料。
- ・借用申請・お問い合わせは自治振興センターまで



和尚さんと握手
(長野原)



パネルシアターをじつと見る子どもたち
(時文)

「江戸系あやつり人形」伝統の技が舞う
(駄科)

にんにんまる参上！
「ちだもとなんみ」
(桐林)



「おもしろかったよ！」きつねとたぬきのばけくらべ
(上川路)

「あおり運転が連日取り上げられている。割り込みや急ブレーキで威嚇するのみならず、暴力を振るうなど、もはや刑法を適用すべきと感じる案件もある。今号発行の頃には、秋の交通安全運動は終了しているが、常日頃から穏やかな運転に心がけたいものである。

ところで、あおり運転が騒がれていることもあり、ドライブレコーダー設置が急速に進んでいる。そのリアルな映像がテレビやYouTubeで見ることができ、また、映像を証拠に犯人の検挙にもつながっている。これからは全車標準装備でもよいと思う。

コンビニや大型店舗、公共施設や道路防犯カメラも普及している。一般家庭でも「ピンポイント」と鳴れば誰が来たか確認できる。気づけば、至る所にカメラがそれだけ犯罪が増えたということか。

同様にスマートフォンもカメラやGPS機能により防犯に役買っている。スクリーン映像として素人が投稿した事件事故の映像が流れるのは当たり前になった。その時その場の様子が映像として残るということは「動かぬ証拠」であり、有事の際、特に自分が当事者になった場合は「カメラに感謝。つけておいてよかった」と思う。ただ一方、心のどこかで「誰が見ているかわからない。監視社会おそろべし。世知辛いなあ」とも思う。本当は、みんなが信頼しあえる穏やかな世の中が理想なのだが。

ちなみに我が家は、玄関以外は無施錠、カメラもありませんが、妻の「女の勘」で私は二十四時間監視されています（超怖）。

川で遊ぼう！ 親子で夢中

8月25日 @久米川

「重たいなあ」
魚のつかみ取りで大物をとらえた男の子が笑顔で話してくれました。夏の最後の楽しいイベントは「川で遊ぼう」です。水遊びが心地よい暑さのもと、およそ百名の子どもと大人が集まりました。私は今年初めて参加したのですが、久米川の下流にこんな素晴らしい水遊びスポットがあるとは驚きました。思わず子どもたちと一緒にずぶ濡れになっていました。



約六百匹のニジマスと大物の川の主が放たれつかみ取りのスタートです。一斉に川の中へ入り、早い人はあつという間にバケツいっぱい、ニジマスをつかまえていました。必死なニジマスたちは、つかもうとすればするりと逃げていきます。「頭のところとしつぽのところをやさしくつかむんだ」となかなか取れない私に子どもたちが教えてくれました。川岸の草の下に手を伸ばすと逃げ込んだニジマスのぬるっとした感触があります。教えてもらったように優しく追いつめると、ようやく初めての獲物を捕らえることができました。

無心で遊べたあつという間の二時間でした。さて、川の主はどこだろうと上流へ歩いて行くと、何やら丸太のようなものが浅いところに



見えました。近づいても逃げません。本当に丸太だと見間違えたのは信州サーモンでした。あまりの大きさにおそろおそろの手を伸ばすと、川の主も体を揺らして逃げます。やっと捕まえた男の子は手だけでは足りず、抱きかかえるようにして連れていったのでした。

高校生も参加、 意見を出す

令和元年市政懇談会

竜丘地区市政懇談会が八月二十日、行われました。懇談会は、二部構成で行われました。

第一部では、市長挨拶後、いいた未来デザイン二〇二八(飯田市総合計画)の、本年度の主な取組についての説明がありました。続いて、自治会長挨拶、竜丘の現状について説明がありました。

第二部では、まず、全体発表として昨年度取り上げられたテーマの現状についての説明がありました。その

後、二分会に分かれてそれぞれのテーマについて意見交換が行われました。

第一分会では、「地域の将来を担う子供たちへの防犯・安全対策について」をテーマとして、安全委員会、ぶらきよる隊、保育園から、現状についての説明がありました。また、危険箇所として、時又保育園のブロック塀、市道二四九号線、国道一五一号線の坂などが、挙げられました。

市からは、コミュニティスクール、ぶらきよる隊等

を利用して地域全体でも取り組んでほしいとの要望がありました。

第二分会では、「新規就農者への空き家耕作放棄地農地の活用について」をテーマとして行われ、竜丘地区内の現状として、空き家が、五十二戸内三十六戸が良好な



状態である事、耕作放棄地農地が十二%あることが報告されました。また、高校生の参加者からも地域外からの就農希望者を募集支援するだけではなく、地区内にも目を向けて若い就農希望者への支援協力も考えて欲しいとの意見が有りました。

最後に市長が、発言した高校生に意見を聞くこと「地域の人と、市とが意見交換を行って、地域の事を良くする為に、熱心に考えていることが良くわかりました。」との感想でした。来年度の市政懇談会には、もっと大勢の若年層に、参加してほしいと思いました。

見が有りました。

地域人教育 高校生が地域で学ぶ

駄科夏祭りにて高校生がチョコバナナを販売

飯田OIDE長姫高校では、地域人教育を推進している。地域人教育とは公民館が地域と高校生の仲介役となり、高校生の生きる力、社会を形成する力を育むため、フィールドワークを中心とした探求的な学習活動のこと。竜丘での高校生の受け入れは今年で四年目。

飯田OIDE長姫高校
三年 小池亜沙夏

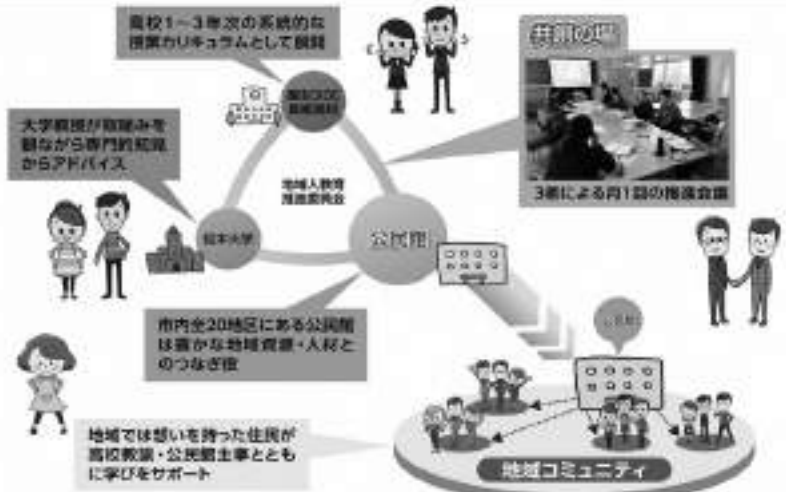
飯田OIDE長姫高校の授業の一環として初めて夏祭りに参加しました。話しかけてくれる方が沢山いて祭りの盛り上げることができました。最初の計画では、竹水鉄砲の射的ゲームをやり、一緒にチョコバナナを売る予定でしたが天候が悪く室内でチョコバナナを売るだけになってしまいました。チョコバナナは私達の事前準備が足りず、最初は上手くいかないこともあり



でしたが完売することが出来ました。売っている時にも話しかけてくれる方が多く、竜丘の人の優しさを感じることができました。また何かイベントがあればみなさんと協力し、地域を盛り上げたいです。

飯田OIDE長姫高校の生徒と共に駄科夏祭り駄科分館長 小島 信由
台風の影響により室内で行った夏祭りに、三百人以上の区民が押しかけました。早くから盛り上がりつつあったのが屋台コーナー。他の店に交ざって、飯田OIDE長姫高校の生徒が自ら材料を購入し現場調理した「チョコバナナ」の店が人目を引き大売れだったからです。それに振り返ること一カ月半前、初めて高校生と夏祭りへの参加について話し合いを持ちました。初めてにも関わらず彼等は積極的に夏祭りへのアイデアを出してくれました。若い力を得て、より多くの区民に参加していただける夏祭りになりそうな予感がしました。それからの計画を練り上げていくのには、全てスマホのラインを使いました。その先には八名の高校生がいて、しかも、リーダーが存在しない中で考えをまとめることができたのは「成功

飯田OIDE長姫高校による地域人教育の仕組み



させたい」という皆の意志があつたからと思います。また、一見静かに見える高校生でしたが、祭りの慰労会に積極的に参加して初対面のおじさんたちや若い人たちと楽しく話している様子もうかがえ、物おじしない現代の子どもたちの姿を垣間見た思いでした。

下平君 全国五位!!

長野原在住の下平清哉君が第五〇回全国中学校柔道大会の五十五kg級に出場し、第五位の成績を収めました。



公民館での激励金授与の様子

令和元年度 あいさつ標語

応募総数 374通

今年度テーマ

「行き帰りのあいさつ (地域の人との)」

最優秀賞

1年 おきた 航

「あいさつで ひろがれひろがれ 笑顔のわ」

館長賞

2年 くまかい ひな

「おはようと 毎朝会う人 ほっとする」

育成委員長賞

3年 まえざわ そうすけ

「あいさつで 笑顔広がる 竜丘に」

PTA会長賞

5年 おがさわら 小笠原こはる

「あいさつは 地域の方と 結いになる」

優秀賞

4年 なかしま りの

「つうがくろ あいさつひびく きもちよさ」

6年 すはら しゅう 洲原 愁

「あいさつは みんなのきづな 結ぶもの」